

企画展

赤間関硯 堀尾信夫の挑戦

Akamagaseki Inkstone:
Challenges of Horio Nobuo

会期: 9.5^[火]～10.15^[日]

休館日: 月曜日(祝日の9月18日、10月9日は開館)

開館時間: 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

観覧料: 一般 500円(400円)

大学生 400円(320円)

※ ()内は平日料金

※ 18歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料

※ 下関市内在住の65歳以上の方は半額

助成: エネルギア文化・スポーツ財団

協賛: やまぐち文化プログラム

会場: 下関市立美術館 第4展示室および講堂(1階)

下関を代表する伝統工芸として、長い歴史を誇る赤間関硯。堀尾信夫(1943-)は、その技を継承する硯作りの第一人者です。父・堀尾卓司に師事して技を継承し、主に伝統工芸の分野で活躍を続けてきました。古典的な硯の制作を踏まえながらもそれに留まらず、柔らかさや温もりを感じさせる用美一体の造形を身上に、近年も新境地を開拓しています。80歳を迎える今年、洗練された造形を求めて挑戦を続ける、その創作の軌跡をご紹介します。

近世や近代の赤間関硯の名品や、堀尾の後進の作家たちによる創作も紹介します。堀尾信夫の硯約50点を軸に、約70点の硯作品により、赤間関硯の歴史と未来を展観します。

堀尾信夫(ほりお・のぶお/硯司)

- 1943年 山口県下関市に生まれる
- 1967年 久留米大学卒業後、父卓司に師事
- 1971年 日本伝統工芸展に初入選(以降、入選41回)
- 1972年 西部工芸展受賞(以降、受賞2回)
- 1974年 日本工芸会山口支部入会
- 1975年 日本工芸会正会員となる
- 1980年 第1回下関市芸術文化振興奨励賞受賞
- 1981年 山口県立美術館にて「堀尾卓司・信夫」展
- 1983年 山口県芸術文化振興奨励賞受賞
- 1984年 日本工芸会山口支部展受賞(以降、受賞4回)
- 1995年 第1回エネルギア伝統文化賞受賞
- 1996年 下関市教育功労者表彰
- 1999年 伝統工芸諸工芸展 鑑・審査委員(以降、7回)
第46回日本伝統工芸展において日本工芸会奨励賞受賞(《無地研》)
- 2000年 第47回日本伝統工芸展鑑査委員(以降、6回)
- 2002年 山口県指定無形文化財赤間硯保持者となる
- 2003年 下関市立美術館にて「硯司 堀尾信夫の世界」展
- 2008年 中国文化賞(中国新聞社)受賞
- 2009年 第56回日本伝統工芸展において日本工芸会会長賞受賞
(《横置楕円研》。2015年、国立近代美術館所蔵)
- 2014年 秋の叙勲において旭日双光章を受章
- 2015年 第62回日本伝統工芸展 第一次・第二次鑑査委員及び
審査委員
- 2016年 第36回伝統文化ポラ賞地域賞受賞



会場の一角に、玉弘堂の作業スペースを再現したコーナーも登場します。

出品予定作品より



堀尾信夫《無地研》1972年、作家蔵
(下関市立美術館寄託)



堀尾信夫《風字研》1973年、作家蔵
(下関市立美術館寄託)



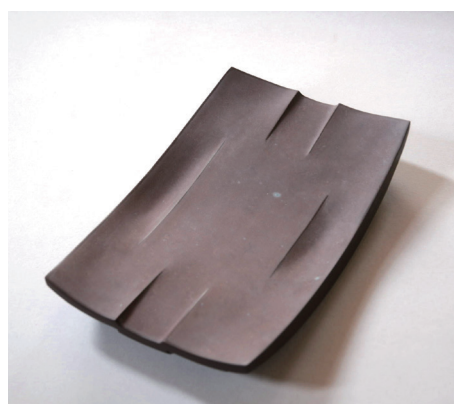
堀尾信夫《なす研》1980年、作家蔵



堀尾信夫《猿面研》1988年、作家蔵



堀尾信夫《楕円研》1994年、作家蔵
(下関市立美術館寄託)



堀尾信夫《長方双池研》2015年、作家蔵
(下関市立美術館寄託)



堀尾信夫《変形十字文研「はやぶさ」》2019年、
作家蔵 (下関市立美術館寄託)

新型コロナウイルス感染症対策について

- ・発熱のある方、咳・咽頭痛などの症状のある方は、入館をご遠慮ください。
- ・入館に際しては、手指の消毒、手洗い、他のお客様と距離を保つこと（2m程度）にご協力ください。
- ・作品、展示ケース、壁にさわらないでください。



作品、展示ケース、
壁にさわらない



企画展の関連催事

(1) 作家トーク

内容 堀尾信夫と、玉弘堂で硯作りに携わる作家たちを迎えてのトーク
日時 2023年9月9日(土) 13時30分～(約1時間)
出演 話し手：堀尾信夫氏、高原祐二氏、中村一姫氏
聞き手：渡邊祐子(下関市立美術館学芸員)
会場 下関市立美術館 光庭
定員 50名
※参加は無料ですが、当日の企画展観覧受付が必要です。

(2) 実演&赤間石「削り」体験

9/13までに要申し込み

内容 作家の手ほどきを受けて、のみを使って赤間石を削ってみませんか？石を削る感覚を楽しんでください。
日時 2023年9月23日(土) 10時00分～(約1時間半)
会場 下関市立美術館 講堂
対象・定員 小学生以上の一般の方・10名(9月13日までに要申し込み)
※参加は無料ですが、当日の企画展観覧受付が必要です。

(3) 実演&硯「磨き」体験

9/13までに要申し込み

内容 作家の手ほどきを受けて、半製品のミニ硯を砥石で磨きます。
石を磨く感覚を楽しんでください。磨いたミニ硯はお持ち帰りできます。
日時 2023年9月24日(日) 10時～(約1時間半)
会場 下関市立美術館 講堂
対象・定員 小学生以上の一般の方・5名(9月13日までに要申し込み)
参加費 一人2,000円(企画展観覧・ミニ硯付き)



申し込み方法

(2)・(3)は、美術館に来館かお電話、もしくは美術館公式ウェブサイトの応募フォームから「希望催事名、氏名、電話番号」をお知らせください。
応募者多数の場合抽選とし、結果は本人あてに9/15頃を目安に通知します。

(4) 美術館開館40周年記念

ギャラリートーク&ギャラリーコンサート

日時 2023年9月16日(土) 13時45分～
(トーク約10分、コンサート約30分、企画展の展示解説約30分を予定)
出演者 藤田卓也(テノール)、岩佐靖子(ピアノ)
会場 下関市立美術館 光庭
主催 下関市立美術館 下関市立美術館友の会
※参加は無料ですが、当日の企画展の観覧受付が必要です。

下関市立美術館
Shimonoseki City Art Museum

(担当：渡邊)

〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町1-1
TEL. 083-245-4131 FAX. 083-245-6768
E-Mail kibijuts@city.shimonoseki.yamaguchi.jp
HP <https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art>

詳細はHPへ！

下関市立美術館